

株式会社アイソトープ



**一枚から受注！
在庫リスク
作業ロス軽減に貢献**

国産ニットにこだわって企画・製造・販売を行うトータルニットメーカー、アイソトープ。手頃な価格でタイムリーに商品を提供できるのが強みで、工程別に分かれた6つのグループ会社と、泉大津に点在する外注先で生産を行っている。

点。大ロット、小ロットにかかわらず、注文に対応することはもちろん、ショールームには、常にオリジナルサンプルを多数用意。取引先の間屋や販売店は、それらを見て、必要な分だけ発注する。

定石から外れる戦法でもある。しかし、近年のOEMは、小ロットのものも多くなり、価格面ではどうしても、中国などアジア諸外国の企業には太刀打ちできない。だからこそ、まずはオリジナルの商品で売上を確保することが大切と考えたのだ。そうして季節による売上変動を少なくした上で、全体の売上高を上げるべく、有力間屋向けのOEM商品を増やしていく考えた。

異業種参入、 産学連携による新商品開発で マーケット拡大を狙う

同社の大きな強みは、どんな変化にも対応できること。従来のニット業界の枠にとらわれずに、ニーズや状況に対応していく会社の柔軟さが挙げられる。

「常にフロンティアスピリットを持っている」という金沢克哉社長。それだけに、ニットの技術を使って異業種へも積極的に参入している。

例えば、釣具屋からのオーダーを受け、鮎釣り用のタモあみを、1年半かけて開発。雑貨エキスポ時には、酒屋とタイアップしてワインのボトル入れを作成した。

他にも、産学連携を視野に入れて医療系大学と、アトピー用のタイツを開発したり、障害者用のユニバーサルファッションの企画に取り組んだり、新商品の開発には積極的だ。これは衣料品（ニット）の製造で培った技術でもってマーケットを拡大するとともに、業界内外の注目を集めることで、自社の売上はもちろん、泉

大津のニット産業全体を盛り上げていきたいという考えからだ。

「泉大津のニット工場は、安価で、しかも一定のクオリティの商品を作る技術は持っている。問題は、マーケットを読み、売れる仕組みを作り上げられるかどうか」と、常々感じている金沢社長。年々厳しくなるニット生産の現状を打開し、泉大津全体を盛り上げるためにも、同社のチャレンジはまだまだ続く。

主な事業内容

ニット製品の企画・製造・販売等



金沢克哉さん
代表取締役

Company Profile

株式会社アイソトープ

住所 / 〒595-0024
大阪府泉大津市池浦町1-5-19
設立 / 平成15年12月
資本金 / 5,000万円
従業員 / 37名（平成21年1月現在）
TEL / 0725-21-5171
FAX / 0725-21-5190

大阪
19

ISO 9001

<http://www.isotopegroup.com/>

年1000型のオリジナル商品群、
小ロット対応・ストック販売可の
国産ニットメーカー

